レッスン：No./SPA 55

テーマ：素質的可能性のサイクル

SPA56/KE9/25/11

私の姉妹・兄弟たち、スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

これまでのレッスンで真理の探究者が部屋のなかで、無知という制限のなかにいる間に行うワークの重要性について説明してきました。それらの無知の制限とは地中、土のエレメントの中であると述べました。探究者はそのワークのための助けが与えられ、それは様々なシンボルです。

二次元のシンボルもあれば、三次元のシンボルもあります。勿論、三次元のシンボルをマスターすると言うとき、それら三次元のシンボルは同時に二次元にもそれ自体を投射します。そうです、探究者は現在のパーソナリティーの部屋のなかで非常に真剣なワークをする必要があります。しかし最も真剣なワークはもう一つの三次元のシンボル、（地中、土のエレメントの中ではなく）地上にある四面ピラミッドのなかです。

現在のパーソナリティーは部屋のなかでは二つのイニシエーションを経る、と述べました。最初のイニシエーションは現在のパーソナリティーの努力なしに完了します。努力なしにという意味は、現在のパーソナリティーが上昇のためにいかなるフォーカスもしないということです。その理由は現在のパーソナリティーが本能的意識のセルフ・エピグノシスを現しており、啓発に全くフォーカスしていないからです。

そのサイクルが完了すると、現在のパーソナリティーは次のサイクルに入ります。それは潜在意識的意識のセルフ・エピグノシスです。

このサイクルにいても最初は現在のパーソナリティーは啓発にフォーカスしません。しかし、何回かの転生の後（回数はその現在のパーソナリティー、個人によります。恐らく10回、20回、100、200回、あるいはもっと多いかもしれません）、初めて現在のパーソナリティーを活性化するスパークがそれ自身を罪の意識として現し始めるのです。そしてその時初めて現在のパーソナリティーは自分自身について考え初めます。自分自身について考えるとは、苦しみ・痛みをもたらす結果を避けるためにはどうしたらよいか、ということです。その時から、現在のパーソナリティーはシンボルのベースのところに自分自身を見いだすようになります、四面、三面、五面ピラミッドです。

円錐はどうでしょうか？まだです。最初は円錐はまだ築かれていません、しかし他のピラミッドもまだ現在のパーソナリティーによって築かれていないのです。確かに素質的可能性はあります。前に述べたように、それら全ての助けは素質的可能性の二番目のサイクルによって提供されます。しかし同時に、現在のパーソナリティーは自分自身を助けるために、それらの助け、それら三次元のシンボルを築く必要があります。

現在のパーソナリティーがそれらのシンボルをどのように築くかは別問題です。そうです、何であれ現在のパーソナリティーが築く建築物の背後には元型があります。

ですから、現在のパーソナリティーはそれらのピラミッドのベースのところにいます、なぜならそれら異なったタイプのピラミッド、それら三次元のシンボルがあるからです。あなたはそれら、ピラミッドの各サイドの下部、ベースのところにいて、真のワークは各ピラミッドのベースからスタートします。あなた方は四面ピラミッド、三面ピラミッド、五面ピラミッドに関してワークをします。

Page2

そしてあなたが頂上に向かって登って行くとき、その時初めて最後のピラミッド、一面ピラミッドつまり円錐を築くようになるのです。それは私たちが意識の拡大と呼んだ生の特質を示します。私たちの意識はその場所全体、町全体、国全体をカバーすることができます。私たちの意識は惑星全体、地球をも抱くことができ、同時にいろいろな場所にフォーカスできるようにもなります。勿論、素質的可能性の二番目のサイクルを完了させても、それは生じません。

部屋のなかには二つのサイクルがあり、二番目のサイクルが完了すると、地上にある大きな四面ピラミッドにいる自分を見いだします。そして次のサイクルがスタートし、私たちは意識的意識のセルフ・エピグノシスとなります。パーソナリティーは徐々により意識的に生きるようになります。

そして勿論、その次は四番目のサイクルで、それは超意識的意識のセルフ・エピグノシスの始まりであり、火の洗礼が始まります。そしてこのサイクルが完了すると、もう一つのサイクルがありますが、

**そのサイクルには努力は必要ありません。なぜなら、そのサイクルに入るやいなや、完了するからです。**

それは最後のイニシエーションであり、

それはパーソナリティーに自己実現を与えます。

その瞬間、パーソナリティーはその真の本質としての特質を伴ったセルフを現します。

そのパーソナリティーは物質化、非物質化の能力を持つようになり、

肉体から切り離されたサイコノエティカル体を使う能力も持つようになります。

そして同時に、現在のパーソナリティーはサイキカル体をスーパーサブスタンスのバイブレーションである高次ノエティカル体のなかに吸収・同化させることができるようになります。

**そしてそのパーソナリティーは助けが必要な場合は他の惑星、他の太陽系にまで助けを提供することが可能となります；なぜなら、ある惑星から別の惑星へと旅する唯一の方法は、サブスタンスではなくスーパーサブスタンスの海を介してのみ行われるからです。**

そして不可視のヘルパーとしての現在のパーソナリティーがおり、その時初めて現在のパーソナリティーは「以前私は何々だった」と言うことができるようになります。自己実現に到達するまでは誰も「自分は前に存在していた」と言うことはできません。その理由は、今や完全に再形成されたサイコノエティカル体が一つとなって、以前の全ての転生の乗り物として完全にそれ自身を現しているからです。それを私たちは永遠のアトムと呼んでいます。

ですから永遠のアトムとサイコノエティカル体が一つとなり、永遠のアトムはそれ自身を今や完全に現しています。自己実現した現在のパーソナリティーがそれ自身を現している時、その人自身を現しているのは永遠のアトムです。

しかし、自己実現に到達する前はそうではありません。それゆえに、自己実現するまでは、名前を持つ一人の現在のパーソナリティーは、前生で自分が生きていたと言うことができないのです。

そうです、各現在のパーソナリティーは過去の全ての転生、過去の全ての経験の結果です。しかし、それぞれの現在のパーソナリティーは現れとして過去の現れとつながっていないのです。それぞれは過去の転生の総計なのですが。

さて、五つの様々な素質的可能性のサイクル、様々なイニシエーションについて述べてきました。これらは主要な大きなイニシエーションですが、これらのイニシエーション、これらの素質的可能性のサイクルのなかにまた他の素質的可能性のサイクルがあります。それらもまた絶対生によって人間のイデアに与えられたものです。そして人間のイデアのそれらのサイクルはまた天上人に与えられるものであり、14芒星があります。14のステーション、14のイニシエーションです。将来、あなた方はこれらのイニシエーションがどのようにして他の素質的可能性のサイクルのなかに入るか、を学ぶようになるでしょう。

Page3

そうです、シンボルについて、ピラミッドについて話しました。何に向けての努力でしょうか？

気づきの上昇と言うとき、サイコノエティカルな成長と言うとき、自己実現と言うとき、実際現在のパーソナリティーは何をすべきでしょうか？

現在のパーソナリティーは不定形の諸体の形を形成し直す、サイコノエティカル体の形を形成し治すためにワークする必要があります。実際に二つの体が現在のパーソナリティーなのですが、しかし肉体のなかに入っている時は、ワークはまた肉体に向けられます。どのようにして？他の諸体が形の再形成に向かっている時、肉体により多くの健康を提供することによって。ですから、健康が肉体に広がっていきます。その理由は、肉体を維持するために働いているそれらのアークエンジェルたちの仕事を現在のパーソナリティーが邪魔しないからです。

ですから、現在のパーソナリティーの二つの体があり、同時に三つの体、肉体の健康があります。最初はいわゆるサイコノエティカル体、および肉体の健康を示すものは球体をしており、それら三つはハートのセンターに根付いています、三つの球体が；一つは金色、もう一つはホワイトピンク、もう一つは水色です。

なぜ私は金色からスタートしたのでしょうか？なぜならそのように築かれているからです、肉体さえも、そしてサイコノエティカル体も。その理由は、ノエティカル体はサイキカル体がなくても存在できるののですが、しかしその反対は不可能だからです。

ですから、三つの球…実際には三つの体ですが…があり、一つの体に他の体があり、それらは全く同じ大きさであり、同じセンターにあります。あなた方は三つの色がそれぞれ他の中にあるのを同時に見るべきです。確かにそれは難しいですが、可能です。そして三つの色だけでなく、同時にあなた自身の白も同時に見るべきです。

ですから一つの体が他の体のなかに入っている三つの体があり、現在のパーソナリティーのワークは最初の転生のこのポジションからスタートします。それらの球体がこのポジションに何回ぐらいの転生の間留まるかは誰も知りません。確かなことは非常に多数回の転生の間、そのポジションにあるということです。

さて、同時に四つの色を見るのは非常に難しいと感じていると思います。なぜでしょうか？なぜなら、あなた方はこれまでのエクササイズを十分に行っていないからです。過去のエクササイズをマスターするほど十分にやってきませんでした。あなた方これから、過去のレッスンを行い、同時に与えられた知識をも復習する必要があります。それが適切なやり方です。今到達したポイントでは、あなた方はエーテルの様々な特質をもっと意識的に使用できているべきです。運動、感覚、刻印エーテルの特質をマスターしているレベルに達しているべきです。もちろん、三つのなかでもっとも難しいものは刻印エーテルです。この特質をある程度マスターしているべきであり、同時に視覚化もある程度マスターしているべきなのです。さもないと、過去数年間にあなた方に提供したエクササイズはそれほどの助けにはならないでしょう。

ですから、前に戻り、これまでの全てのエクササイズを練習し、過去のレッスンを復習しなさい。なぜなら、各エクササイズ、および各レッスンはそれぞれ重要だからです。そしてその重要性は今私たちが到達したポジションで示されています。もし真理の探究者が本当に進歩したければ、一生懸命にワークする必要があります。このレッスンでは初めてこの新しいアプローチを示し；これ以降のレッスンでは質疑応答をベースにして進んでいきます。どのような質問でも構いません。どんな質問でもと言うとき、それは最近の、あるいはごく最近のレッスンに関することを意味します。エクササイズについても同じです。過去に提供したエクササイズを新しいアプローチで行っていきます。全ては、私が全てと言うとき、エクササイズを意味しますが、それは部屋のなかにあります。

質問：非常にシンプルな質問ですが、円錐の色は何でしょうか？

Page4

Ｋ：最初は円錐は純白です。後にどうなるかは全く別のことです。（＊後における）その色はあなた方の五感では解釈不可能な色です。なぜなら円錐が完全なものとなると、現在のパーソナリティーは部屋の円錐ではなく大きな四面ピラミッドのなかの本当の円錐となるからです。なぜなら、覚えていると思いますが、部屋のなかにあるものは何であれ大きな四面ピラミッド内で行われるものの影だからです。

ですから、今は小さな円錐があり、将来は大きな円錐となります。素質的可能性の各サイクルには円錐があります。勿論、三番目のサイクルおよびその先のサイクルに加えられるものは別問題であり、今はそれについて分析しません。なぜなら、確かに何かが加えられるからであり、特に火の洗礼の始まりである四番目のサイクルに現在のパーソナリティーがいる間に。今のところ、輝き、色は完全ではありません。今のところ、与えられている色は四面ピラミッドの色、三面ピラミッドの色だけです。

質問：ラファエルの色はウルトラ・バイオレットですが、それはヒーリングのための強力な色ですが、ヒーリングに使われていません。それはエーテルと関係あるのでしょうか？

Ｋ：私たちはウルトラ・バイオレットをピラミッドのエクササイズで何回も使用してきました。進化・成長のプロセスにある人、つまり自己実現に向かうプロセスにある人がヒーリングのために使うことができる唯一の安全な色は純白です；ホワイトピンク、水色も使うことができますが、白、純白はそのなかに他の全ての色を含んでいます；もしそれが与えれれると、その色の中から必要な色がそれを必要としている特定の人によって引き出されて使われます。

ですから、あなたの知っている誰かが助けを必要としている場合は、その人を純白の輝きで包んであげなさい。あなたが相手の苦しみが何であるのかを知っていて、相手が抱擁を必要としている、そのようなサポートを必要としているなら、あなたはホワイトピンクをも送ることができます。もし相手に肉体上の問題があり、それが何であるのかあなたが知らない場合は、もっとも安全な色は純白です。また水色を使うこともできます。それ以外の色は使いません。純白はあなたの同胞の人間達を抱擁する上で最も安全な色です。

色を分けるというメソッドは過去に使用されたテクニックです。そうです、それは一つのフォーム、それはマジックの傘の下に分類できるものです。それは現象を行うために使われてきました。様々な色、様々な組み合わせの色などです。それらは実際テクニカルな方法です。現在のパーソナリティーが生の特質をたくさん現すことができるステートに達すると、苦しんでいる人、例えば何らかの病気で苦しんでいる人のために行われること、それはブレーシス（＊神の意志）を通じてワークが行われます。あなたは何かを行うために色々な色を使うという手順を使用することはしません。ただ望むだけで、それが行われます。

色の組み合わせを使用する前に、単に一つの色であれ、誰かのためにそれを行う人は各色、色の組み合わせに対して相手がどのような反応を示すのかを完全に調べる必要があります。それを調べることは簡単でしょうか？答えはノーです。そのためには、その人はあるレベルの気づきに到達している必要があります。それはあなたがテクニックとして学ぶというものではありません。あなたは相手の心理的なステートのなかに入ることができなければなりません。誰かにとって助けになることが、他の人にも助けになるとは限らないのです。また多くのケースでは、不可視のヘルパーの介入によって癒しが生じています。

EREVNA/SPA55/KE9/11/08